山本小学校だより

令和４年６月 20 日
No.４
文責　藤髙　ちよ

６月　いじめ根絶強化月間・人権月間です！

【６月１４日人権集会：各学級人権スローガン発表】

「自分とともに周りの人の大切さを認め、それを具体的な態度や行動に現すことができるようになる」ことを目標に取り組んでいます。人権集会や人権学習に取り組みます。また各学級では今年度の人権スローガンについて話し合い、決定した目標を集会で発表しました。１年間の目標です。紹介します。

１年：おともだちにやさしくする
　　・やさしいことばをつかう（だいじょうぶ、いいよ、ありがとう）
　　・いやなことがあったら、ことばでいう。（なぜ、どうして）
　　・みんなでなかよくあそぶ
２年：「すごいね」「いっしょにあそぼう」「どうぞ」がいっぱいの
　　クラスにしよう
３・４年：①人をはげます言葉、人をほめる言葉を使う（言われたら勇気が出る　安心する
　　自分が言われたらうれしいから友達にも言いたい）
　　②言い方に気をつける
　　③人の話を最後まで聞く（違う考えも大切にしたい　自分の話も聞いてほしい）
５年：誰に対しても優しくする（学級目標「困っている人に声をかける」をさらに具体的にできないか
　　考え、話し合い決定しました。）
６年：「優しさ」　心「相手を想う優しさ」　口「良いところを言う優しさ」
　　手足「人を助ける優しさ」

これから学校生活を送る中で、自分自身にも、まわりにも自然と行動ができるようになってほしいと思います。ご家庭でも、人権についてお子さんと話し合ってみてください。

【いじめ根絶集会より】

６月はいじめ根絶強化月間です。熊本市では、６月をいじめ根絶強化月間と定めていて、山本小学校でもいじめ根絶強化月間・人権月間として取り組みます。６月７日のいじめ根絶集会【人権集会】では、いじめの定義について、子供たちにわかりやすく、「**人との関わりの中で、言われたり、されたりしたこと、インターネット上で書かれたりしたことで、その行為をされた人が体や心が痛い、いやだな、苦しいなと感じているもの**」と伝えました。たとえ１回でも、された人が苦痛に感じているものはいじめであるし、言ったり、したりした人がいじめるつもりはなくても、された人が苦痛に感じているのであればいじめであることを伝えました。その後、鹿児島県の池田小学校の３年２組の子供たちが「たった一言が」に続く言葉を考え、担任の先生がそれをつないだ詩を朗読しました。

たった一言でも、明るくなったり、悲しくなったり、元気が出たり、怖くなったり・・・・
ほんとに言葉の力はすごいなと思います。よくもわるくもなる言葉は大事にしないといけないと思います。みんなが笑顔になるために、腰塚勇人さんの命の授業から次の言葉を子供たちに伝えました。

～腰塚勇人さんの言葉～
・口は人を励ますことばや感謝の言葉をいうために使おう
・目は人のよいところを見るために使おう
・耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう
・手足は、人を助けるために使おう
・心は人の痛みがわかるために使おう

この言葉に出会う時、いつも自分自身の姿を見つめ、振り返ることができます。自分自身もまわりも笑顔になるために、このことを大切に頑張ろうという気持ちになります。子供たち一人一人が笑顔になり、みんなが楽しく、過ごしやすいと感じることができるように山本小でも大切にしていきたいと思います。また、挨拶も短い言葉ですが、相手を大切にする言葉や気持ち、態度に変身します。人の心をつなぐ挨拶もしっかり頑張ってほしいと伝えました。